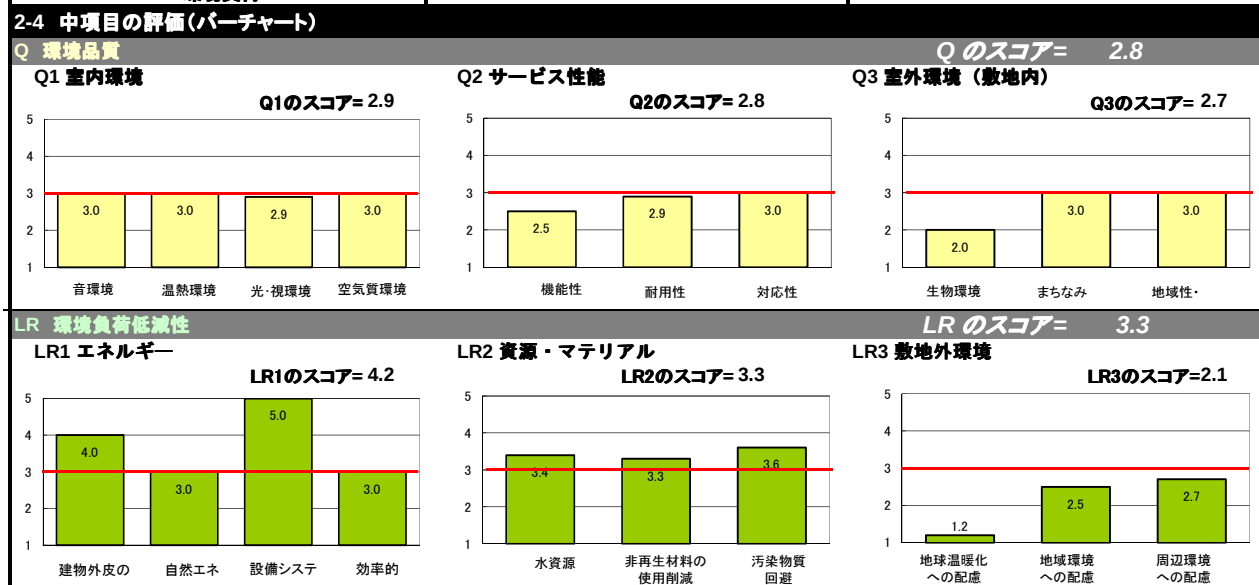
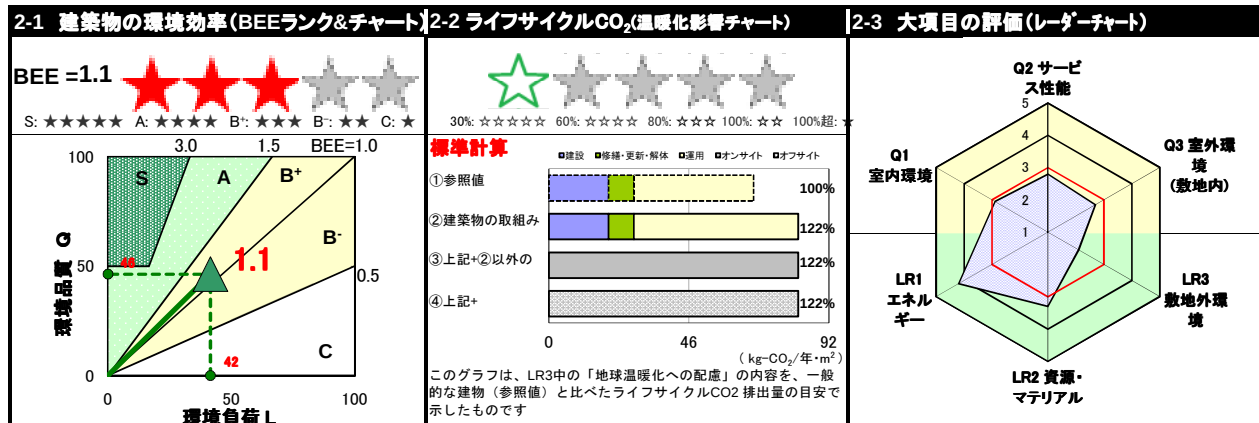


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	姫路市営市川住宅(第3期)	階数	地上10F
建設地	姫路市市川台2丁目1番、3番	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住宅専用地域	平均居住人員	295 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2022年4月10日
敷地面積	15,047 m ²	作成者	加藤 洋子
建築面積	1,327 m ²	確認日	2022年4月10日
延床面積	9,326 m ²	確認者	坂本 晃一



3 設計上の配慮事項		
総合 市営住宅建替事業の3期工事となる計画であるので、今後継続されていく建替事業を考慮して、建物の配置、周辺への圧迫感軽減、ボリューム低減を計り、建物の配置、高さを計画した。 屋外計画は、ゆとりある空間、緑地による豊かな空間を目指し、住民の安全性に配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 外壁開口部・外壁の断熱性能を確保「省エネルギー対策等級4」、重量床衝撃音対策性能を確保「住宅性能表示制度等級2を確保」 F☆☆☆☆を採用[ホルムアルデヒド発散等級3]	Q2 サービス性能 共用・専用部分のバリアフリー化[高齢者等配慮対策等級3] 配管の更新性の配慮[維持管理対策等級2]	Q3 室外環境(敷地内) 外壁色彩等まちなみ・景観に配慮した意匠 通風等に配慮した住棟配置・外構緑化
LR1 エネルギー 外壁の断熱性能を確保[一次エネルギー消費量等級4]	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用 ノンフロンタイプの断熱材など汚染物質非含有建材を採用	LR3 敷地外環境 利便性・安全性に配慮した駐車場・駐輪場を確保

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される